

第4回PI評価委員会での主な助言と対応

参考資料1

分類	委員会での主な助言	ステップ3での対応(案)
PIの進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PIの目的や対象を考慮したうえで、PIステップ2での周知手段(メディアやコンテンツ等)を分析し、ステップ3に活かしていく必要がある。(廻委員)</li> <li>・ 行政番組や説明会を繰り返し続け、ホームページを常に更新するなど、長く積み重ねていくことが、理解をしてもらう上で一番効果が出てくる。広告よりも情報提供に力を入れるべきではないか。(廻委員)</li> <li>・ 意見数の増加は喜ばしいが、報告書の内容とあまり関係のない意見も増加している。PIの意図する所から若干違う方向に向かっているように感じる。(堤委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステップ2では、その場でアンケートに回答できる説明会やオープンハウス等が最も効果的に意見収集ができています。一方、テレビCMや空港内CM(ウェルカムホールの大型ビジョン)については費用程の効果はみられなかった。</li> <li>・ この結果をふまえ、ステップ3での対応を次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 情報を幅広く提供するため、地域住民や県内団体に対しては説明会の頻度を増やすとともに、オープンハウス、パネル展などを全県的に実施する。</li> <li>➢ 空港利用者に対しては、報告書を容易に手に取れるよう、空港内の設置箇所を増やす。</li> <li>➢ 特に関心のある方に対しては、ホームページのコンテンツを充実させることで、より詳細な情報を提供する。</li> <li>➢ CM放送は現予算では回数に限りがあり、効果があまり期待できないので、ステップ3では見送る。</li> </ul> </li> </ul>
テレビCMの使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ テレビCMはPIを理解させるためのものではなく、周知させるためのもの。CMの効果をも高めるには、一定期間に集中して放映するなど工夫が必要。(廻委員)</li> </ul>	
報告書の設置場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛行機内に報告書を置けば、飛行機を利用する方は直接目にするので効果が高い。関心の薄い方には、広報誌や公民館の活用など、地道な活動が必要。(堤委員)</li> <li>・ 機内に報告書を置くアイデアはとてもいいが、飛行機自体が沖縄と関係</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JTAについては協力を得て、那覇発の便に限り機内に備え置いていただくこととなった。(その他エアラインについては現在調整中。)</li> <li>・ また、那覇空港と路線を結ぶ県内9空港へも報告書を設</li> </ul>

分類	委員会での主な助言	ステップ3での対応(案)
	<p>のない地域も飛ぶようになってきているので難しい。確実な方法として、那覇空港と結ぶ県内の空港に設置するという方法がある。(崎山委員)</p>	<p>置する。</p>
インターネットでの広報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報を得る方法として、最近ではインターネットが主流。HPのアクセス数が昨年の半分程度になってしまった原因を分析し、航空会社のHPにバナーを貼ってもらう等、アクセス数を増やす方法を検討すべき。(堤委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アクセス数半減の原因については、関係者のアクセス減/リピーターの減/更新回数が少ない等が考えられるが、特定することは難しい。</li> <li>・ 多くの人に情報を提供できるよう、被リンク数を増やす/コンテンツを充実させる等の工夫をする。</li> </ul>
調査報告書概要版のボリューム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概要版がもう少し概要でもよかった。幅広く意見を聞くのであれば、一般の方が読みやすいよう工夫をすべき。(廻委員、崎山委員)</li> <li>・ 事務局としてはアンケートにある10項目の質問の中身を理解して欲しいのだから、やむを得ない感はある。(堤委員)</li> <li>・ 情報提供の質を落として正しい情報が伝わらないというのでは問題。幅広く意見を聞くことと相反するが、できるだけ簡略化しつつ情報の質を落とさないよう努力してほしい。(上間委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステップ3では、滑走路増設を含めた将来対応方策について情報提供する必要があり内容はより専門的にはなるが、できるだけ簡略化しつつ、伝えるべき情報は伝えるという方針で調査報告書3概要版をとりまとめた。</li> </ul>
実施報告書のまとめ方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「内容を充実すべき」という意見は、「分かりにくい」という意見の1つとして真摯に受け止め、反省すべき。(崎山委員)</li> <li>・ 寄せられた意見に対する対応で、意見件数の多いものについては、もう少し回答を丁寧に書いてはどうか。(廻委員)</li> <li>・ 自己評価は自画自賛で終わらず、多少の反省点を含めるべき。(廻委員)</li> <li>・ 本日の意見、指摘については、今後の課題として実施報告書に追記してほしい。(上間委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ご指摘のとおり対応し、PIステップ2の実施報告書を取りまとめた。</li> </ul>